

## ネズミサシ *Juniperus rigida* Siebold et Zucc.

ヒノキ科 Cupressaceae

1. 利用対象部位：樹皮

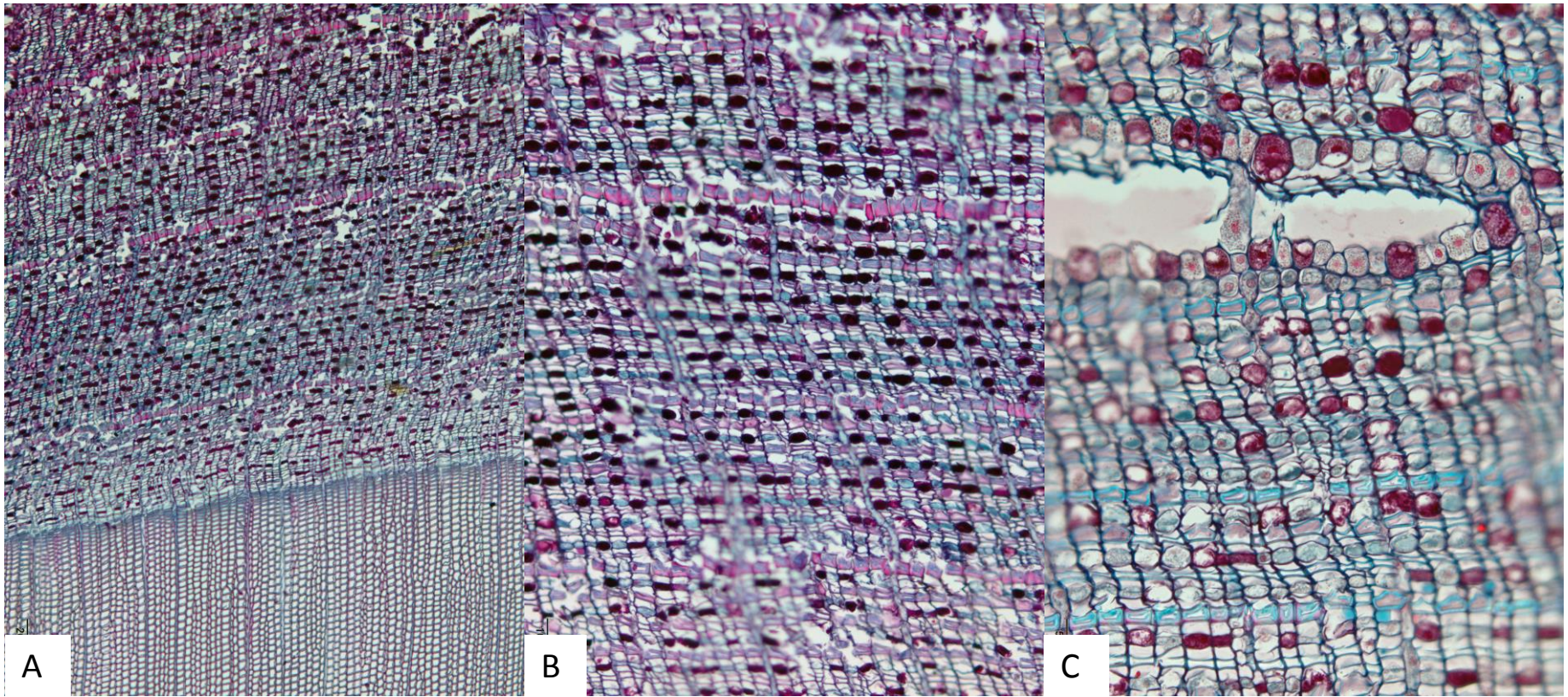
2. 組織形態：

樹皮は縦に浅い割れ目が入り、縦長の薄いテープ状にはげ落ちる。

内樹皮の基本構造は他のヒノキ科樹木と同様に、それぞれ1細胞の厚さで篩細胞-柔細胞-篩細胞-繊維細胞-篩細胞の繰り返しである。繊維細胞は断面長方形で、繊維細胞層毎に細胞壁が薄いものから極めて厚壁なものまで変異がある。

3. 利用例：不明

4. 遺跡出土遺物：「ヒノキ科の樹皮」とされたものはあるが、これまでに「ネズミサシの樹皮」と種を特定したものは知られていない。



A～C:ネズミサシ内樹皮の横断面とその拡大. Aの画面下部1/3は二次木部でその上に形成層帯がある。内樹皮の基本構造はそれぞれ1細胞の厚さで篩細胞-柔細胞-篩細胞-繊維細胞-篩細胞の繰り返しである。空色に染まった繊維細胞は断面長方形で、繊維細胞層毎に細胞壁が薄いものから極めて厚壁なものまで変異がある。樹皮の放射組織は単細胞幅。Cの画面上方の「腔所」は樹脂囊である。